

第1学年 特別活動 学習指導略案

1 主 題	「自分らしく生きる」～性の多様性について考える～
2 資 料 名	絵本「王さまと王さま」、「多様性が尊重される社会を目指して～性を考えることを通して～」(伊丹市性の多様性授業案資料)
3 ね ら い	・「性」が多様であることを知り、生徒一人ひとりが自分のもつ悩みや不安に気付く。 ・「性」をはじめとする多様性を認め合う社会の重要性に気付き、その中での自分の生き方を見つめ直す。
4 人権教育の内容	差別と人権問題についての学習2-(2)-ア
5 展 開	
(第1時)	

学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点
1 世の中にあるさまざまな「ちがい」を考える。	○ 人にはそれぞれいろいろな違いがあります。がどんなちがいがありますか。 ・ 男女の違い。 ・ 背が高い、背が低い。	○ 安全・安心な場を意識し、自分の意見を自由に発言できる雰囲気づくりを行う。 ○ 人それぞれに「ちがい」があり、目に見える、見えないことや、変えることができる、できないなど「ちがい」にもさまざまなものが存在することを実感させる。
2 めあての確認をする。	○ 「性」が多様であることを知り、自分自身の性について考える。	
3 資料「王さまと王さま」を配布し、教師による範読を聞く。	○ 「範読を聞いて、疑問に思ったこと、心に引っかかったことなど、思ったことを書いてみましょう」	
4 個人で考える。	○ 自分一人で考えたことを付せんに記入する。 ・ 好きになる人の性別は人それぞれ違っていいと思う。 ・ 王さまと王さまなんておかしいと思う。	○ 率直な感想を肯定的に認めながら、机間指導を行い、生徒の感想を捉える。
5 グループで意見交換をする。	○ グループ内で自分の感想を発表し合う。付せんをグルーピングする。	○ グループで意見を交流しながら、それぞれの受け止め方の違いに目を向けさせる。
6 全体で意見を交流する。	「好き」にはいろいろなかたちがあることや、「性別」にもいろいろなかたちがあることを知る。4つの捉え方を提示しながら、簡単におさえる。	○ 「ふつう」や「当たり前」とされる性について触れ、性が多様であることを伝える。
7 性が多様であることを知る。		
8 本時をふり返る。	○ ふり返り 「“自分の性について”改めて考えてみよう」	○ 自分自身の性について、改めて考え、ジェンダーの意識などにも気付かせる。また、秘匿したい内容も考えられるため、机を離す等の配慮を行う。
9 ワークシートに記入する。	○ 自分の考えをワークシートに記入する。	

(第2時)

学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点
1 前時の復習をする。 2 めあてを確認する。 3 LGBT の基本的な知識について理解する。 4 個人で考える。 5 付せんに書き出す。 6 発表する。 7 教材配付 7 LGBT の説明を聞く。 8 性的なことに限らずカミングアウトされたらどのように対応するかを考える。 9 個人で考える。 10 発表する。 11 望ましい対応について理解する。 12 本時をふり返る。	○ 「性を捉えるのに四つの視点がありましたが、覚えていますか？」 ・ 身体の性、心の性、社会的な性、性的指向 ○ めあての提示 「性」が多様であることを知ることを通して、“自分らしく生きる”とはどういうことなのかを考える。 ○ 「LGBT という言葉を聞いたことがあると思いますが、それぞれどのような意味でしょう。」 ・ レズ ・ホモ ・おかま ・ レズビアン ・ゲイ ・ バイセクシュアル ・ 性同一性障害 等 ○ 「もしあなたが友だちから本人が秘密にしている悩みを打ち明けられたらどのように対応しますか？」 ・ ゆっくり話を聞いてあげる。 ・ 先生に相談するようにアドバイスする。 ○ 「受容」「共感」の態度で ・ 打ち明けてくれたことへの感謝。 ・ 自分にできることはないか。 ・ カミングアウトした範囲の確認。 ・ 疑問や気持ちを率直に伝える。 ○ 「多様性が尊重される社会とはどのような社会のことをいうのでしょうか？」 ○ 自分の考えをワークシートに記入する。	○ 安全・安心な場を意識し自分の意見を自由に発言できる雰囲気づくりを行う。 ○ 前時に触れられなかった点を重点的に補足する。 ○ 知識の部分は誤った情報が出た場合には修正する。 ○ 「レズ」「ホモ」「おかま」等の蔑称が出た時には、正しい呼称ではないことを捉えておさえる。出なかった場合も授業の後半で説明する。 ○ 性的指向と性自認(性別違和)の違いについて触れる。 ○ 「性」に限らず、カミングアウトをされた時の望ましい対応について考えさせる。 ○ 望ましい対応については共通理解事項としておさえる。 ○ 自分自身の生活やクラスの在り方などに目を向けさせ、生徒一人ひとりの考えを尊重し、望ましい集団の在り方等についてふり返させる。